

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-108730

(43) 公開日 平成10年(1998) 4月28日

(51) Int.Cl.<sup>5</sup>  
A 4 5 D 40/30

識別記号

F I  
A 4 5 D 40/30

審査請求 未請求 請求項の数4 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平8-284622

(22) 出願日 平成8年(1996)10月8日

(71) 出願人 000145862

株式会社コーセー

東京都中央区日本橋3丁目6番2号

(72) 発明者 林 みゆき

東京都北区栄町48-18 株式会社コーセー  
研究所内

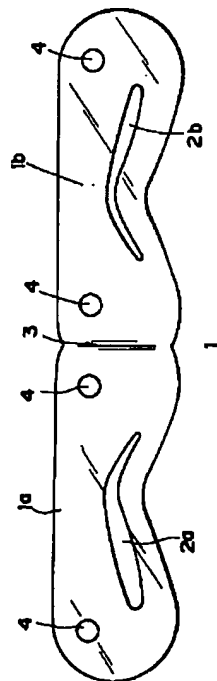
(74) 代理人 弁理士 小野 信夫

(54) 【発明の名称】 メークアップ用テンプレートおよびこれを用いた化粧方法

(57) 【要約】

【課題】 個人が眉、唇等のメークアップを行う場合であっても、描画した眉がのっぺりとか、張りつけたようにならず、立体感や自然な仕上がり感を演出できるメークアップ技術を提供すること。

【解決手段】 複数の整形用孔の形状が異なるテンプレートを組み合わせてなるメークアップ用テンプレートおよびこれを利用する化粧方法。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の整形用孔の形状が異なるテンプレートを組み合わせてなるメイクアップ用テンプレート。

【請求項2】 同一基体上に、2つの整形用孔の形状が異なるテンプレートを設け、そのテンプレート間を折り畳み自在にしてなる請求項第1項記載のメイクアップ用テンプレート。

【請求項3】 複数枚の整形用孔の形状が異なるテンプレートを結合手段により結合してなる請求項第1項記載のメイクアップ用テンプレート。

【請求項4】 相対的に整形用孔の大きいテンプレートでベース塗りした後、相対的に整形用孔の小さいテンプレートで仕上げ塗りすることを特徴とする化粧方法。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、眉毛、唇等のメイクアップ時に、立体感や自然な仕上がり感などを演出できる、いわゆるグラデーションのあるメイクアップをすることができるメイクアップ用テンプレートおよびこれを利用する化粧方法に関する。

【0002】

【従来の技術】化粧の仕上げにおいて、眉をアイブロウで描いたり、唇に口紅を塗ることは特に目立つ部分であるため、重要視されている。しかし、自分で眉を描いたり、口紅を塗ることは案外に難しいことであった。例えば、眉を描く場合、左右が不揃いになったり、不自然な形になるなど上手に描くことができないという悩みがあった。また、眉をカットする範囲がわからないとか、あまり好ましい形状にならない等の問題もあった。

【0003】最近、このような悩みや問題を解決するものとして、メイクアップ用テンプレートが考案され、使用されるようになってきた。このテンプレートは、好ましい眉や唇の形に形成した整形用孔がつけられたプラスチックシートで、これを眉や唇に当ててアイブロウで描いたり、口紅を塗るというものである。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】上記のようなメイクアップ用テンプレートの利用で、ある程度悩みや問題は解決するが、逆に描画した眉がのっぺりし、張りつけたようになってしまうというという別の問題があった。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明者は、上記課題を解決すべく、鋭意検討を重ねた結果、ベース塗り用のテンプレートと仕上げ塗り用のテンプレートを組み合わせて用いれば、プロの美粧師（メーキャッパー）が行うようなグラデーションのある重ね塗りを個人で簡単にすることができ、自然な仕上がり感や立体感のある眉や唇などが描画できることを見出し、本発明を完成した。

【0006】すなわち、本発明は、複数の整形用孔の形状が異なるテンプレートを組み合わせてなるメイクアッ

プ用テンプレートおよびこれを用いた化粧方法を提供するものである。

【0007】本発明のメイクアップ用テンプレートにより、グラデーションのあるメイクアップができるが、このグラデーションがあるとは、描画した眉、唇等が段階的あるいは連続的な色の変化（明度、彩度、色相、濃度等の変化）を有していることを意味する語である。

## 【発明の実施の形態】

【0008】以下、図面を挙げ、本発明を更に詳しく説明する。図1は、本発明の一態様であるメイクアップ用テンプレート（以下、「立体テンプレート」という）を示す平面図であり、図2は、これを折曲げた時の状態を示す図面である。この立体テンプレートは、眉を自然な仕上がり、あるいは立体的に描画するものであり、基体1上の、幅の広いベース塗り用整形孔（ベース塗り眉型孔）2aを有するベース塗り用テンプレート1aと、幅の狭い仕上げ塗り用整形孔（仕上げ塗り眉型孔）2bを有する仕上げ塗り用テンプレート1bから構成され、この1aおよび1bの間は、折り畳み部3が設けられている。また、1aおよび1bには、それぞれ位置合わせ部4が設けられている。

【0009】基体1は、プラスチックシート、上質紙等で形成され、それ自身透明、半透明または不透明の何れであっても良く、また、着色されていても、また着色されていなくても良いが、好ましくは、透明もしくは半透明で、肌の色と識別しやすい有色のもの、例えば、青色、黄色、赤色、緑色等のものである。

【0010】1aおよび1b上の位置合わせ部4は、眉を描画するにあたって立体テンプレートが皮膚上でずれない働きをするものであり、図1に示すような孔の他、切り欠きやマジックテープ等であっても良い。また、折り畳み部3は、屈曲自在であれば良いが、例えば図1に示すように中心部に切れ目を入れ、折り畳み易くすれば使い勝手が良い。

【0011】この立体テンプレートを利用する自然な仕上がり感、立体感のある眉の描画（眉のメイクアップ）は、次のごとくして行われる。すなわち、まず、本体1を開いた状態で、1a側を眉に合わせる。この時、最初に眉山を合わせ立体テンプレートが水平になっていることを確認し、眉頭、眉尻の位置を調節する。次いで、額側から位置合わせ部4に親指と人差し指をのせて立体テンプレートを固定し、色が相対的に薄いアイブロウ（ブラウン系のもの）で幅の広いベース塗り用整形孔（ベース眉型孔）2aを塗りつぶし、眉のベース塗りとする。同様に、1aの逆側の面を利用し、反対側の眉もベース塗りを行う。

【0012】次に、必要に応じて眉のベース塗りからはみ出た眉毛をカットした後、立体テンプレートを図2のごとく折り畳み、ずれないように注意しながら、2aと幅の狭い仕上げ塗り用整形孔（仕上げ眉型孔）2bを合

3

わせる。この場合、2aと2bの上辺(眉山)が一致するように合わせる必要がある。そして、2bに沿って、色が相対的に濃いアイブロウ(ダークブラウンやダークグレーのもの)で眉の仕上げ塗りを行う。同様に、立体テンプレートを逆に折り畳み、反対側の眉の仕上げ塗りを行う。

【0013】最後に、立体テンプレートをはずし、軽くブラッシングしてほかし、眉の形を自然に整えて、立体感のある眉とする。このように本発明の立体テンプレートを利用することにより、立体感があり、しかも自然

【0014】図3は、本発明の別の実施例を示す図面である。この実施例では、ベース塗り用テンプレート1aと、仕上げ塗り用テンプレート1bとが切り離されており、1aで幅の広いベース塗り用整形孔(ベース眉型孔)2aを描画(ベース塗り)した後、プレートを変え、1bで幅の狭い仕上げ塗り用整形孔(仕上げ眉型孔)2bを描画(仕上げ塗り)するものである。反対側の眉も、各プレートを逆に使用することにより描画することができる。

【0015】上記した実施例では、2枚のプレートを用いているが、これを3枚あるいはそれ以上として用いることができることはいうまでもないことである。また、眉の描画を例に取り説明したが、眉以外でも例えば

4

唇等に利用し、グラデーションのあるメイクアップを行うことができる。

【0016】

【発明の効果】本発明の立体テンプレートを利用することにより、従来、美粧師等でなければ困難であるとされていた立体感のあるメイクアップを個人でも行うことが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 1枚の基体で構成される本発明のメイクアップ用テンプレートを示す図面(平面図)

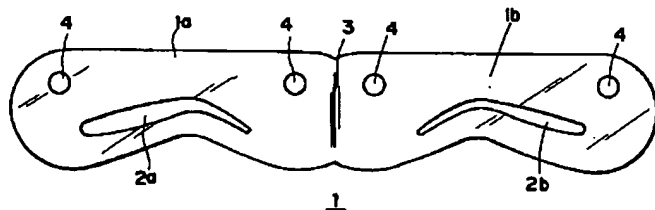
【図2】 図1のメイクアップ用テンプレートの折曲げた状態を示す図面

【図3】 2枚の基体で構成される本発明のメイクアップ用テンプレートを示す図面

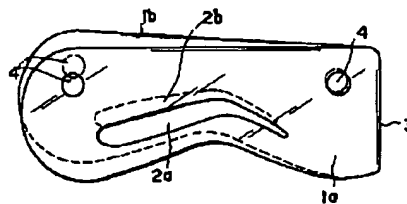
【符号の説明】

1 …… 基体	3 …… 折り畳み部
1a …… ベース塗り用テンプレート	4 …… 位置合わせ部
1b …… 仕上げ塗り用テンプレート	5 …… 結合手段
2a …… ベース塗り用整形孔	
2b …… 仕上げ塗り用整形孔	
以 上	

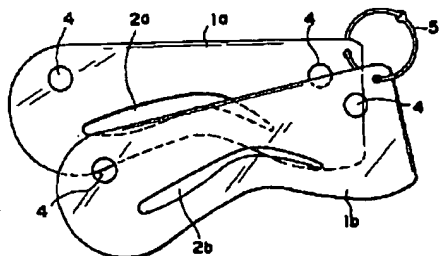
【図1】



【図2】



【図3】



PAT-NO: JP410108730A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10108730 A

TITLE: TEMPLATE FOR MAKE-UP AND MAKE-UP METHOD USING  
THE SAME

PUBN-DATE: April 28, 1998

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

HAYASHI, MIYUKI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

KOSE CORP

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP08284622

APPL-DATE: October 8, 1996

INT-CL (IPC): A45D040/30

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily perform layer coating with gradation performed by a make-up artist by an individual by forming a template for make-up by combining the plural templates for which the shapes of holes for shaping are different.

SOLUTION: A three-dimensional template is constituted of the template 1a for base coating provided with the shaping hole 2a for the base coating of a wide width on a base body 1 and the template 1b for finish coating provided with the shaping hole 2b for the finish coating of a narrow width. A folding part 3 is provided between both templates 1a and 1b and the three-dimensional template is prevented from being shifted on the skin at the time of drawing eyebrows by

respectively provided positioning parts 4. At the time of use, in the state of opening a main body 1 first, the side of the template 1a is matched with the eyebrow, the positioning parts 4 are pressed and fixed from forehead side and the shaping hole 2a is painted out by an eyebrow pencil. Then, the three-dimensional template is folded, the shaping holes 2a and 2b are matched and the finish coating is performed with the eyebrow pencil of a relatively dark color along the shaping hole 2b.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO